

第 5 回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議

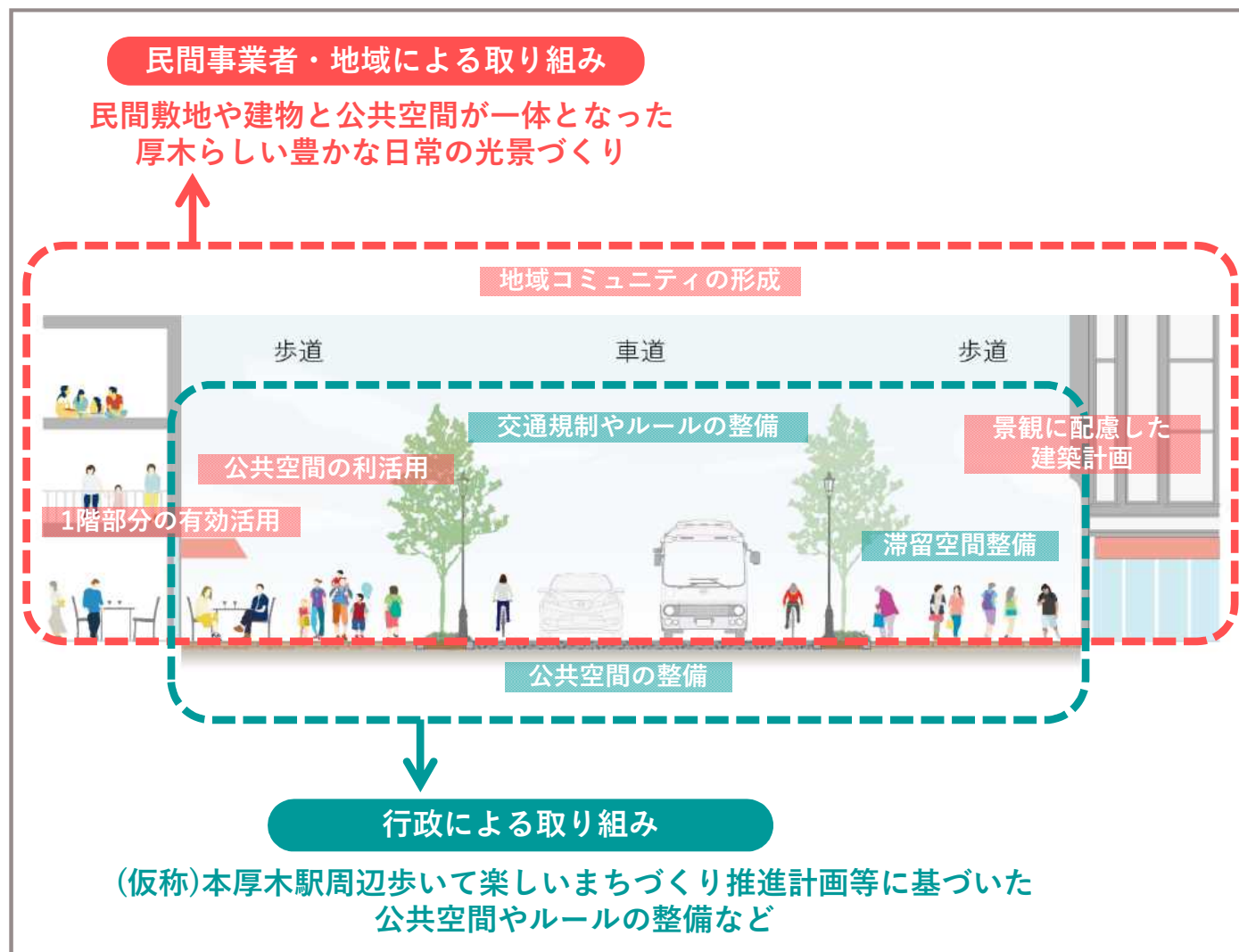
(1) 施策について

< 論点 >

1. 市民主体の重点プログラムについて

歩いて楽しいまちの実現や都市の魅力や価値を持続的に高めていくためには、**まちづくりを担う人達** (商業者、交通事業者、大学、住民、行政等) **が計画の内容や意識を共有し、民間と行政が一体となった継続的な取組**が必要である。

■官民連携のイメージ



官民連携による取組で、まちなかにおける持続的なにぎわい創出や魅力づくりが可能

【期待される効果】

- ・新たな事業や雇用の創出
- ・まちなかの来訪者や滞在者の増加
- ・エリア価値 (地価、資産価値) の向上
- ・魅力的なまちなみの形成 等

御協議いただきたいこと

本厚木駅周辺の目指すまちの姿を実現するため、
市民（事業者や住民など）ができることについて

〔誰が／どこで／何をするのか〕

→次回、御意見に基づく取組の枠組等を提示予定

=抑えておきたいポイント=

1 事例

…P8～13

2 まちづくりに対するニーズ（したいコト/ほしいモノ）

…P14

3 市民活動に対する意識と現状

…P15～18

市民活動とは、次の①～③すべてを満たす取組とする。

①行政が直接行っていない。②行政との請負契約又は業務委託でない。③定期的かつ継続的に行われている。

1 委員提案の取りまとめ

第4回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議【令和4年2月18日】

本厚木駅周辺の目指すまちの姿を実現するための市民（事業者や住民など）主導の取組について

主体※	商店街、事業者、住民、地権者、大学、行政、推進会議委員
目的	A) 関係者間の対話と協働 B) 既存の公共空間とまち（商店街等）の一体化で、歩行者空間を形成 C) まちのにぎわい創出
エリア※	一番街通り、厚木中央公園、厚木公園、厚木なかちょう大通り、あつぎ大通り、駅前広場等
活動	A) 歩行者空間への休憩施設（テーブル、椅子等）の設置 B) 歩行者空間への出店（軒先販売、マルシェ、キッチンカー等） C) 車道空間の歩行者空間化 D) 歩行者空間での交流イベント（演奏、スタンプラリー、バスの乗り方教室等）
その他	A) 一箇所ではなく、複数の箇所で連携して実施し、周遊を促す。 B) 道路空間の活用には、警察の理解と協力が不可欠である。 C) 高層マンションが増え、音の反響がしやすくなっている。

※提案の多い順に記載

2 市民主体の重点プログラム（案）

ほこまちチャレンジinあつぎ

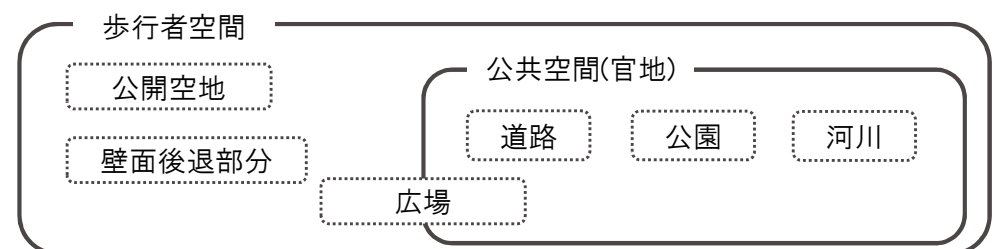
歩行者中心(ほこ)の豊かな日常の光景をまちなか(まち)に広げていくため、
本厚木駅周辺にある道路や公園などの歩行者空間の
“新しい使い方”を実践できる担い手の育成

目 的

- まちづくりの“担い手”の発掘・育成
- 自分ごとの実践（能動的なまちづくりへの転換）
- 仲間づくり（コミュニティ形成）
- サードプレイス※の拡大
- まちへの愛着や誇りの醸成（≡こども達の原風景）
- 市民と行政がまちづくりの課題を共有
- 新たな活動への気づき 等



< 歩行者空間の考え方 >

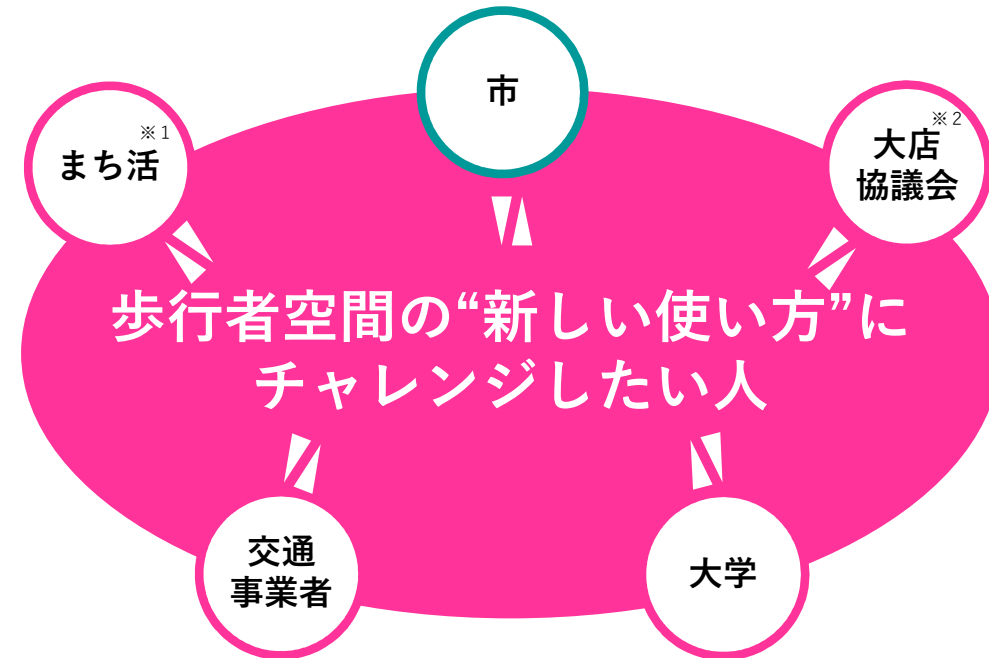


※家「第1の場所」と職場・学校「第2の場所」との間にある「第3の場所」として、多くの人達が気軽に立ち寄り、充実した時間を過ごすことができる居場所

2 市民主体の重点プログラム（案）

実施体制

- ✓ 楽しい場づくり（住民・商業者・大学）とそこまでアクセシビリティ確保（行政・交通事業者・大学）の視点から官民共同で、市民を対象に、歩行者空間の“新しい使い方”にチャレンジしたいメンバー（参加者）を募集する。
- ✓ チャレンジしたい活動に応じて、参加者が実践に向けた企画検討を行う。
- ✓ 地域の関係者、学識経験者、行政などをゲストに呼び、参加者が企画の発表や実践成果の報告を行う。
- ✓ 実践経験を持つスタッフ（市やコンサル等）が参加者の取組をバックアップする。
- ✓ 参加者の取組が円滑に行われるように、共同主催者は、それぞれの所属する組織において、企画の周知やキーパーソンの紹介などを行う。



※1 厚木市まちなか活性化プロジェクト
※2 中心市街地大規模小売店舗・商店会ネットワーク連絡協議会

<主催者の役割>

- 募集テーマの検討
- 利活用を行う土地の斡旋
- 企画への助言
- 行政手続きのサポート
- 各組織への情報共有 等

厚木市まちなか活性化プロジェクト

厚木市商店会連合会

厚木一番街商店街振興組合

あつぎ商和会

厚木なかちょう大通り商店街振興組合

厚木みなみ商工クラブ

中央通り名店街

厚木商工会議所

西仲自治会

中心市街地大規模小売店舗・ 商店会ネットワーク連絡協議会

厚木ガーデンシティビル(株)

イオンリテール(株)イオン厚木店

(株)小田急 S C デベロップメント本厚木ミロード

東急不動産 S C マネジメント(株)

(株)ヨーク ヨークフーズ厚木店

厚木市商店会連合会

厚木一番街商店街振興組合

あつぎ商和会

厚木なかちょう大通り商店街振興組合

厚木みなみ商工クラブ

中央通り名店街

厚木商工会議所

⇒自治会、地元商店街、商工会議所、大規模小売店舗の関係者が参加している。

2 市民主体の重点プログラム（案）

事業の流れ

単なるイベントで終わらせない仕組みが求められる。

Before 参加者募集

- ・官民の役割分担
- ・募集テーマ検討
- ・トークイベント（ビジョン、事例等）で機運醸成
- ・参加者募集

STEP1 参加者の顔合わせ

- ・プログラムの狙いを共有
- ・参加者同士でチャレンジしたいことを共有
- ・実践経験者による講演
- ・公物管理法（道路法、都市公園法等）の理解

STEP2 企画の作成

- ・目的、活動、スケジュール、役割分担などを検討
- ・企画（案）の発表
- ・実践経験者による講評
- ・先進地視察

STEP3 中間報告会（意見交換会）

- ・企画（案）の発表
- ・地域の関係者、学識経験者、行政などによる講評
- ・企画実施の予告

STEP4 企画実施の準備

- ・企画の最終決定
- ・行政手続き
- ・地域関係者などへの周知・協力依頼
- ・成果報告会の予告



STEP5 企画の実施 *チャレンジ*

STEP6 成果報告会

- ・実践した成果や今後の課題を報告
- ・地域の関係者、学識経験者、行政などと意見交換

After フィードバック

- ・成果等を各組織の事業へフィードバック
- ・成果等を市民へ情報発信
- ・次回募集テーマの検討 等

 参加者が行うこと
 主催者が行うこと

Beforeへ

“ほこまちチャレンジ”をキッカケに、担い手それぞれの在りたい姿へ活動を発展させることができる。

市民協働事業提案制度

- ✓ 行政からの支援
 - I. 市から活動経費の支援
 - II. 活動内容に応じた担当課のサポート
- ※同一事業は最大3年間まで

まちづくりに取り組むキッカケ

ほこまちチャレンジinあつぎ



アイデアを
実践



都市再生推進法人

【都市再生特別措置法】

- ✓ 行政からの支援
 - I. 国などから財政支援
- ✓ 組織ができるコト
 - I. 都市再生整備計画の提案
 - II. 占用手続きのサポート

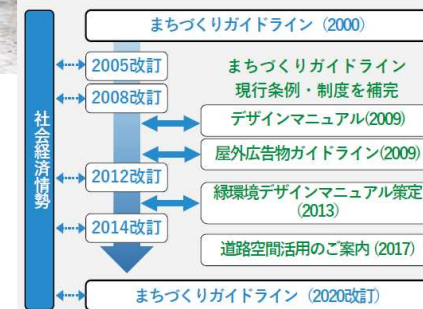


大丸有まちづくり協議会
(東京都千代田区)

まちづくり市民組織

【厚木市住みよいまちづくり条例】

- ✓ 行政からの支援
 - I. 情報提供
 - II. 技術的支援
- ✓ 組織ができるコト
 - I. 都市計画の提案





2021年、
活動開始!



次のシバヒロへ

ここは、みんなの「好き」に乗っかる場

About

町田シバヒロを今よりもっと楽しく居心地の良い場所とするために、皆の好きを持ち寄って、次のシバヒロをつくるプロジェクト「RIDE ON シバヒロ (ライドオンシバヒロ)」。

広大な芝生広場。遊び方が試される自由なこの場所“町田シバヒロ”に、様々な人の「好き」や「やりたい」が集まり、きっかけとなって繋がっていく。そんな、好きを持ち寄って乗っかる場になればとの思いで、「RIDE ON シバヒロ」と名付けられました。

「シバヒロでこんな事してみたい」、「こんなチャレンジを形にしたい」を持ち込むもよし。誰かの活動に参加してサポート・応援するのもよし。思い思いシバヒロで過ごしてみるのもよし。

人それぞれの心地よい関わり方で、このプロジェクトを通じ、シバヒロを存分に楽しんでください!

様々な企画の会議やアイデア交換などを、「RIDE ON シバヒロ Facebookグループ」にて行っております。





▲フィールドワーク



▲アイディアコンペ

▼コンペで優勝した「River Side Living」の実践

最大の難関は資金!! まったく無い!!!

2017 4月～7月 Living CUBE 試作品づくり!

時代はECO! 水、服、本などでもリユース!
 ならば「Living CUBE」だってリユースの材料で製作しよう! ということで平成建設にお願いを……
 「家屋の解体材をもらえないか」
 「作業場所を貸してくれないか」
 快くご協力いただき、現在、3台の試作品が完成しました。



試作品完成! みんなに体験してもらいたい!!

「夏フェス Summer of Love」にてLiving CUBE体験イベント

7月22日(土) 23日(日)開催の「夏フェス Summer of Love」にて「Living CUBE」が体験できます!

色々な方々の御協力により、予算ゼロという困難ものりこえ、いまここにLiving CUBE (リビングキューブ) が世に出されました。

Living CUBEを使って「こんな時間を過ごしたい!」
 「こんな空間にしたい!」
 「組み合わせでこんなイベントで利用したい」
 など活用に関するご意見をお聞かせ下さい。



試作品はこうして作られました!

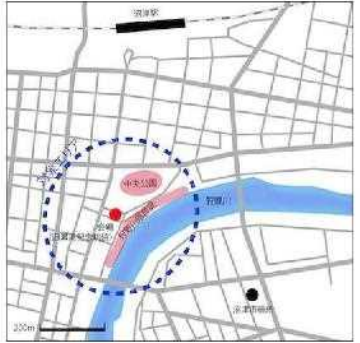
ご意見ご感想はコチラから



～公共空間の新しい使い方を考える ワークショップ&コンペに参加しませんか～

イベントでしか使わない狩野川の階段堤や中央公園を、もっと日常使いしていくために、みなさんはどんな方法があると思いますか? 日本中の公共空間を面白く使う取り組みをしている公共R不動産の馬場氏にヒントをいただきながら、沼津の日常をもう一歩、素敵にするためのアイデアを一緒に考えてみませんか?

- 開催概要
 - ・日 時: 12月17日(土) 10:00～17:00 (開場9:30)
 - ※終了後、1時間程度の懇親会を予定しています
 - ・場 所: 沼津市上土町3(旧瀬尾記念病院) ※駐車場はありません
 - ・定 員: 20名程度(定員に達し次第締め切り)
 - ・参加費: 無料
 - ※別途、懇親会の費用(一般:1,500円、学生500円)が必要です
 - ・申込み: ホームページの申し込みフォームから (<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/renovation/topics/koukyoukukan.htm>)



■参加者によるプレゼンテーションは一般公開を予定しています
 参加ご希望の方は、事前にご連絡の上、15:50までに会場へお越しください

■講師プロフィール



馬場正尊(公共R不動産/OpenA)
 雑誌「A」の編集長を経て2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。建築の近作として「祝鳥橋団地(2012)」、「這頓野角産」(2013)、「佐賀県杵町歴史地区再生」(2015)など。近著は「PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた」(学芸出版、2016)、「[エアリアル]バージョン 変化の構造とローカライズ」(学芸出版、2016)

主催: 沼津市/企画・運営: 公共R不動産(株式会社オープン・エー)/協力: 株式会社沼津トラスト
 問い合わせ 沼津市役所企画部ぬまづの宝推進課 TEL: 055-934-4886 E-Mail: takara@city.numazu.lg.jp

出典: <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/renovation/topics/koukyoukukan.htm>
<https://www.realpublicstate.jp/post/3284/>
<https://www.realpublicstate.jp/post/3317/>
<https://riversideliving.jimdofree.com/>



ストリート マネジメント スクール @大宮

STREET MANAGEMENT SCHOOL @OMIYA

受講生
募集
7月7日まで
[受付中]

ストリートで
まちづくりの
リアルを学ぶ

大宮のバリエーションを舞台に、
実際にひとと向き込み、
まちを動かす体験を

- こんな方におすすめです！⇒ ストリートマネジメントに興味がある方または実践したい方 ⇒ 先進的なまちづくりを学び、ストリートに関連したプロジェクトを自ら考えたい方 ⇒ 職種や経験は問いません
- 特徴 ⇒ ストリートマネジメントを実践する多様な講師陣によるインプットとフィードバック！⇒ 地元関係者へのプレゼンテーションとディスカッション！⇒ 公共空間利活用の実践を現場レベルのプロセスと共に経験できる！

私たちが伴走します！

スクールマスター
工藤和美
UDCOセンター長
京洋大学教授
シーワカンスK&H主宰



ディレクター
藤村龍至
UDCO副センター長
東京造形大学 准教授
RFA主宰



ディレクター
内田奈芳美
UDCO副センター長
埼玉大学 教授



インストラクター
石黒卓
新津瞬
高橋卓
伊藤孝仁
森元気
UDCOデザインコーディネーター

ゲスト講師陣

レクチャー
園田聡
有限会社
ハートビートプラン取締役
| 主な実践地域 | 豊田市・坂西市



レクチャー
飯石藍
公共R不動産コーディネーター
株式会社 nest 取締役
| 主な実践地域 | 豊島区池袋



レクチャー
下里杏奈
神保
東京造形大学
美術学部産科科助手
| 主な実践地域 | 異構市



2021
8-11
月
[実施期間]



プロジェクト実践コース
ストリートマネジメントスクールの
メインプログラムを体験できるコースです

- 実施期間=2021年8月-11月
- 実施内容=グループワーク+現地プログラム [レクチャー+プレゼンテーション+アウトプット] 6回程度
- 実施場所=まちラボおおみや(大宮ラークーン8F) | * 遠征オンライン会議ツールも活用
- 定員=15名(予定) | * 事前選考があります
- 受講料=55,000円(税込) | * 受講決定後に参加費のお支払方法をお知らせします

- [インプット]
8月1日(日) | 13:00-18:00
ストリートマネジメントを大宮と仙都市の事例から学ぼう
同校式/レクチャー/大宮まちあるき/
ファーストイン/プレセッション発表/グループ分け
| * 別途、動画によるレクチャーも実施
- [フィードバック]
8月21日(土) | 13:00-15:00
公共空間利活用の企画について意見交換しよう
企画プレゼンテーション
インストラクターによるクリティック
- [中間報告会]
9月4日(土) | 13:00-16:00
公共空間利活用の企画を講師と地域関係者に
プレゼンテーションしよう
レクチャー/企画プレゼンテーション/
講師・関係者クリティック
- [フィードバック]
9月25日(土) | 13:00-15:00
公共空間利活用の実践に向けた準備・調整について
意見交換しよう
企画プレゼンテーション/
インストラクターによるクリティック
- [アウトプット]
10月16日(土) | 終日
実際の公共空間を使って企画を実践しよう
大宮の公共空間利活用を受講生自ら実践
- [成果報告会]
11月13日(土) | 13:00-16:00
実践の成果を講師と地域関係者に報告しよう
レクチャー/成果報告プレゼンテーション/
講師・関係者クリティック/修了修習
| レポート作成 |
これまでの活動を振り返りレポートにまとめよう
* 上記プログラムにおいて、
適宜グループワークをさせていただきます

オンライン聴講コース
プロジェクト実践コースの一部を
オンラインにて聴講できるコースです

- 実施期間=2021年8月-11月
- 実施内容=プロジェクト実践コース [1|インプット][3|中間報告会][6|成果報告会]のオンライン聴講
- 受講料=11,000円(税込) | * 聴講内容が変更になる場合があります

開講スケジュール

[申込期間]
2021年6月16日(水)-7月7日(水) | 17:00まで
[選考・手続期間]
-2021年7月23日(金)

ストリートマネジメントスクールで学べること

ストリートマネジメントスクールは、ストリートを舞台とした公民連携によるまちづくりの現場を学ぶプログラムです。● 2017年より大宮にて「ストリートテラス」をはじめとする街路利活用社会実験を実践しているアーバンデザインセンター大宮(UDCO)が主催し、受講生と伴走します。● 本スクールでは、UDCOが持つノウハウ/フィールドネットワークを基に、レクチャーやまちあるきによるインプット、受講生によるグループワーク、講師・地域の方とのディスカッション、実際に公共空間を利用する(アウトプット)、という一連のプロセスを経験することで、まちの課題解決と価値創出に繋げるストリートマネジメントのプロセスを学ぶことができます。

ご案内

- 本票は6月時点のものであり、スケジュール/カリキュラム/実施場所(※※※※※)等に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合はUDCO HPにてお知らせします。
- 受講に必要なデバイスおよびインターネット接続環境の準備、移動・宿泊・食事・個別の必要品費用は、受講料に含まれていませんので、ご自身にて対応をお願いいたします。
- 受講決定後に参加費のお支払方法をお知らせします。受講決定後のキャンセル・返金は原則できません。

お問合せ

アーバンデザインセンター大宮(UDCO)
330-0802
埼玉県さいたま市大宮区
宮和一丁目60番地 大宮ラークーン8F
まちラボおおみや内
MAIL: takahashi@udco.jp
TEL: 048-782-9679



詳細お申し込みはこちら
UDCO公式HP

(参考) 重点プログラムの位置付け

(仮称) 本厚木駅周辺歩いて楽しいまちづくり推進計画の階層

